

創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究 (3)

— ピアノ学習導入期の指導をとおして —

A Study of Piano Performance with Creativity. (3)
— Analysis through the practice in 2009 and 2010 —

小 森 光 紗

(こども学科 非常勤講師)

要旨 筆者は、平成 21・22 年度に渡り、教員・保育者養成課程における「創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究」に取り組んできた。本稿は、二年間に渡る実践結果に基づいた分析を行い、結果を記したものである。本研究では、音楽に対するイメージーションを豊かにし、様々な音楽経歴を持つ学生全員が意欲を持ってピアノ演奏に取り組めるよう、創作楽譜を用いた実践を行った。実践の特徴として、教員が創作手法をあらかじめ指定せず、学生一人ひとりが任意の創作手法を選択する点が挙げられる。学生一人ひとりが得意な創作手法を選択して表現するため、全ての学生が自発的に取り組むことが出来る。

これまでの実践結果を比較し、分析した結果、学生の音楽経歴の有無や選択する楽曲の難易度とは関係なく、全ての学生にとって創作楽譜の実践は有意義であったと言える。そして、所属学年の違いや音楽経歴の有無、選択した楽曲のレベルの違いなどから分析した結果、それぞれに表現しやすい手法が見えた。実践をとおして学習出来る要素は、学生一人ひとりの音楽経歴の有無や選択した楽曲の難易度により様々であった。

【キーワード：音楽 創造力 表現力】

I はじめに

教員・保育者を目指す学生たちにとって、音楽を創造的に表現する能力を身に付けることは必要不可欠である。将来、教育・保育現場において、子どもの様々な表現を受け止め、子どもの創造性を豊かに育むことが出来る教員・保育者を筆者自身が養成しなければならない。

近年、教員・保育者養成課程に入学してくる学生の音楽経歴は多様化している。高等学校までの音楽の授業や部活動・サークルなどの課外活動、ピアノ教室での習いごとなど、多種多様の経験が見られる。しかし、入学時における音楽経歴のない学生が増えており、教員・保育者養成校に入学後、全くの初歩から学習する学生が多く見られるようになった。このような様々な音楽経歴を持つ学生が、楽しく且つ意欲的にピアノ演奏に取り組むような創作活動に取り組みたいと考え実践に至った。

本研究は、平成 21・22 年度に渡る実践結果に基づいた分析を行い、比較したものである。

まず、平成 21 年度の実践では、2 年次の学生を対象とし、J.ブルグミュラー「25 の練習曲」を題材とした創作楽譜を制作した。学生たちは、多

彩な創作楽譜を仕上げ、ピアノにおける演奏表現も豊かになった。音楽の楽しさを味わうことにより、ピアノ演奏に対して更に意欲的な姿勢で取り組む事が出来るようになった。

次に、平成 22 年度の実践として、前年度の実践結果を踏まえることとした。そして、1 年次学生を対象とした同様の実践を行った。入学直後の学生を対象とした実践を行うことにより、その時に抱えている音楽系科目への不安を取り除くことが出来たように思う。また、ピアノ演奏に対して積極的に行う姿勢が見られ、早期段階で実践を行ったことは、大変有意義であったと思われる。

実践結果の比較及び分析結果により、音楽経歴の有無や選択した楽曲の難易度とは関係なく全ての学生にとって創作楽譜の実践が有意義であったことは言うまでもない。そして、学生一人ひとりの思考力や創造性を養い伸ばすことが出来た。また、学年の違いや、音楽経歴の有無、選択した楽曲のレベルの違いなどから分析した結果、それぞれに表現しやすい手法が見えた。実践をとおして学ぶ要素は、学生の音楽経歴の有無や楽曲の難易度によって様々であった。

II 研究方法

本実践は、マンツーマン形式のピアノレッスンにおいて、筆者が担当した学生を対象とした。学生どうしの意見討論を行い、考えを膨らませていくことも大切であると考え、グループ学習方式を取り入れた。

まず、学生一人ひとりの習熟度に合わせて選曲を行った。平成 21 年度における実践では、2 年次学生を対象とし、J.ブルグミュラー「25 の練習曲」を題材とした。また、平成 22 年度における実践では、1 年次学生を対象とし、入学時における学生の習熟度に合わせた選曲を行った。入学時点での音楽経験は様々であり、選曲には大きな差異が生じた。それ故に、実践で取り扱った楽曲は、バイエル教則本、ブルグミュラー「25 の練習曲」、ソナチネアルバムなど、広範囲に渡った。

創作楽譜を制作するにあたり、楽譜と任意のカラー筆記用具を使用した。まず、楽曲に対する自

己のイメージを膨らませる。次に、出来あがったイメージを絵や色彩、文章などの自由な創作手法を用いて楽譜に表した。そして、表現の手法、楽譜の創作方法などについては、学生一人ひとりが自由に、得意な手法を用いて表現するように指導した。

学生が制作した楽譜を使用し、ピアノによる演奏表現をするにあたり、楽譜に修正が必要な箇所が出てきた場合、その都度、修正を加える指導を行った。

III 調査概要

研究 A：平成 21 年度における実践（表 1）

- 対象学生：2 年次学生
- 実践時期：平成 21 年 4～5 月
- 実践内容：創作楽譜の制作
- 使用曲：J.ブルグミュラー「25 の練習曲」より

表 1 平成 21 年度における実践 創作楽譜・一覧表

創作楽譜番号	曲番号	標題	創作楽譜のテーマ	創作楽譜の内容紹介	創作手法
1	1	素直な心	Heart	「すなおな心」ということであっただかいものばかりがイメージできました。例えば、テーマであるハートや人間。心が温かくなるもの。	①
2	1	素直な心	恋 ～ Love ～	人を好きになった時の感じの曲だと思います。すごく純粋で、時に甘く、時に苦しく、そんな恋をした時の気持ちをあらわしている曲のように感じました。	①
3	2	アラベスク	戦い	昔から仲が悪い将軍が 2 人いて（白将軍、黒将軍）とうとう戦いをしてどっちが強いかを決めることになった。まずはしたつば同士 1 対 1 でやらずと白将軍のチームが負け。それに焦った白チームは一致団結し、攻めに行く。黒チームも負けじと戦い始め、だんだん激しくなっていった。結果、白チームの勝ち。白チームは黒チームに家来になれ！と言うと思ったが、実は白将軍、黒将軍と仲良くなりたかったみたいで、これからは争いも無く平和に暮らしていこうと二人は誓った。	②⑥ ⑦⑧
4	2	アラベスク	森の動物たち	森の動物たちが、皆で楽しく遊んでいる様子	①⑤
5	2	アラベスク	春	この曲は春のおとずれから、春の終わりまでをあらわしたすごくきれいな曲です。スタッカートを使うことで、芽や花が出てきたのをあらわす感じがよくでている。	①④ ⑧
6	2	アラベスク	倉庫	〔アラベスクのメロディーに歌詞を創作〕 ギー、バタンッ、コツコツコツコツ ヽ～やつがきた×4 つかまってたまるか ぐるぐる回るが倒れてしまって捕まった めまいする×4 つかまってしまった（犯人）ちょっと待って（警察）待てない（犯人）何で僕が（警察）ふざけるな 何一つ悪いことなんてぼくしていない なのに何で逃げてた 夢に見た殺人は現実起こってた 犯人は僕です キャン	⑧⑨

創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究 (3)

7	2	アラベスク	準備体操 はじめ！！	たくさんの色を使ったので、体操している人たちが元気のあるところを表現しました。この体操は“ぐるぐる”したり“ぐるんぐるん”とまわしたり、ころがるという動作が多いのが特徴です。	①⑤ ⑧
8	2	アラベスク	おはなが さいた！	お花の芽が出て、雨や風が吹いてきました。ぽかぽかおひさまが出てきてきもちいいあめが降って、葉からつぼみが出てお花さいたよ	①④ ⑧
9	2	アラベスク	(題名なし)	最初は雪が降ってて、止んで少し太陽がでてきた。でも太陽がまた雲に隠れてしまうが最後は晴れて花が咲いたり虫がでてくる。	①⑧
10	3	牧歌	羊たちの 暮らし	この曲は、羊たちがのどかに暮らしている感じを表している。始めの緑色の部分は羊たちがのどかに暮らしている。青色の部分で羊たち同士のケンカが始まる。子羊たちや周りの羊は怖がっている。そこに長老が来てケンカを止める。お互いに仲直りもし、いつもの平和が戻りみんな仲良く暮らしました。	①④ ⑦⑧
11	4	小さなついで	子どもの 脱出大作 戦！！	この曲は子どもたちがお家を抜け出してお外で元気に出かけに行く物語です。お母さんたちがリビングで話している間に子どもたちは静かに外へと出ます。外へ出たら、子どもパワーを発揮！！そして、疲れた子どもたちはお家へ戻ります。	②⑤ ⑥⑧
12	5	無邪気	さんぽ	ねこが散歩に出かける→ちょうちょを見つけて追いまわす→あきらめて散歩を続ける→カエルを見つけて追いまわす→あきらめて散歩を続ける→水たまりを見つけて、見事に飛び越える→散歩を続ける→ボスらしきねこに会う→バトル→引き分け→仲良くなる→家へ帰る	②⑥ ⑧
13	7	清らかな小川	Spring World	季節は春です。野原の小川が静かに流れています。(1～8小節) 魚がそっと小川の流れに合わせて流れてきました。とんとん森の動物達が小川に集まってきました。(9～10小節) 集まってきた動物達は小川のきれいな音を聴きながらぽかぽかお天気の中でお昼寝してしまいました(繰り返し1～8小節)	①④ ⑧
14	7	清らかな小川	さらさら 流れる川	きれいな花がたくさんさいている自然がいっぱいの中に静かにゆるやかに川が流れている。川には魚がいてはねていたり、途中で流れが変わりカーブになったりする。最後までさらさらときれいに流れている感じ。	②⑦ ⑧
15	9	狩	(題名なし)	ファンファーレで狩がスタート！！人間たちは、銃を持って動物のすむ森へ…。動物たちは人間が近づいてくるのに気づき、逃げます。ちょうどあった洞窟のような岩場のところに動物達は隠れます。しかし…人間に見つかってしまい、必死で逃げます。でも、苦勞もむなく、銃で撃たれ捕まってしまう。(動物は必死で逃げたけれど、捕まってしまうという悲しい回想シーン) 人間たちは、狩を終え、嬉しそうに家へ帰っていきます。ファンファーレがだんだん遠くなり、終了。	①④ ⑦⑧
16	14	シュタイヤー 舞曲	お花畑	最初は女の子がおどっていて、うさぎさんやいぬ、最後は森の仲間達が入ってきて、みんなでおどって遊ぶ。たのしかったね♪って終わる。	①④ ⑦⑧
17	15	バラード	お花畑	最初は曇っていた空がだんだん晴れてきてポンポンンとお花が咲いて、きれいなお花畑になる。	④⑧
18	19	アヴェ・マリア	気持ちの変化	最初は明るく温かい気持ちで安心感も持っていたが、悩み事ができてしまい、不安で悲しい気持ちになってしまう。しかし、悲しんでばかりいても仕方ないので、プラス思考になって悩み事を解決しようとした。その結果、無事に解決できて、最初のような明るい気持ちに戻れた。	④⑧

19	21	天使の合唱	天使のお散歩	ピンク色・晴れ オレンジ色・曇り 青色・雨 紫色 ・嵐 黄色・晴れ時々曇り レインボー・虹がでた	④⑧
20	25	貴婦人の乗馬	陽気な馬の婚カツ	①陽気に散歩している②石につまづき転ぶ③ぼろぼろになっても気にせず散歩を始める④温泉を見つけて中に入る⑤陽気に散歩する⑥メス馬見つけてひと目ボレする⑦猛アタック!!⑧メス馬も恋をして⑨ハッピーエンド	②⑧

【創作手法 分類】

① 絵を描く (カラー)	11名
② 絵を描く (単色・黒)	5名
③ 絵を描く (単色・カラー)	0名
④ 色を塗る	8名
⑤ 擬音語	3名
⑥ セリフ	3名
⑦ 文章を書く	5名
⑧ ストーリーを創る	17名
⑨ 歌詞を創る	1名

研究B：平成22年度における実践（表2）

○実践内容：創作楽譜の制作

○対象学生：1年次学生

○使用曲：学生の習熟度に合わせた楽曲

○実践時期：平成22年4～5月

表2 平成22年度における実践 創作楽譜・一覧表

創作楽譜番号	作曲者	曲番号／ 標題	創作楽譜 のテーマ	創作楽譜の内容紹介	創作手法 分類
1	ピアノへの アプローチ 4 Stepsより	1(a~d) 両手とも同じ 指で弾こう	ドーナツと レモン	ドとレが多かったのでドーナツとレモンが浮かびました	① I
2	ピアノへの アプローチ 4 Stepsより	1(a~g) 両手とも同じ 指で弾こう	現れ	初め空は雲で覆われていて、雨が降っているが次第に太陽が現れ、お花、チョウチョ、最後に虹が現れる	①⑨ II
3	ピアノへの アプローチ 4 Stepsより	2(a) 両手で同じ音 を弾こう	原点	このメロディーを原始人から現代に照らし合わせました。1つ1つの大切な音を基本から学ぶための曲(リズム)。人間が人間になる前は何からだったのか、それぞれ進化がある。ドレドレのように一音上がってまた下がるというのは「ひと」が歩みを進めるというイメージを持ちました。	② I
4	バイエル	15	ピクニック	うさぎさんとくまさんが野原で仲良くピクニックをしている	① I
5	バイエル	15	春風	メロディーがゆるやかな感じが春の空気に似ているなどと思って春の風景を描きました。	① I
6	バイエル	23	ポップスト リート	デコボコ道を楽しくステップすれば楽しくなるように！	④ II
7	バイエル	23	春	春みたいほんわかした曲だと思います。	④ II

創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究 (3)

8	バイエル	31	春のメロディー	私はこの曲に対して、明るく春っぽいイメージをもったので、音符に花を描きました。ドソミソは軽やかに弾いて、明るい春です。メロディーは少しだけのんびりな春のイメージをあてはめました。	① II
9	バイエル	48	うま☆	馬がばっかばっか走っているような感じ。途中で休憩するところもある…!?	④ II
10	バイエル	52	うさぎちゃんの散歩	この曲はノリがよくて、うさぎがピョンピョン跳ねているイメージがあったので、うさぎにしました	① I
11	バイエル	56	海☆ファ☆ソ☆ラ	この曲は、片手は1つの音で弾いていて、もう片方の手は沢山動いていて…とその繰り返しが続きます。私はそれを海の魚たちに例えました。沢山の音符が両手の時は、小魚たちがみんなで“わいわい”としてると考え、賑やかな感じにする為にその所だけ色を付けました。	①④⑤ II
12	バイエル	56	うさぎとカメのお散歩	ポカポカあたたかい日に、うさぎとカメが仲良くお散歩している感じ	① II
13	バイエル	66	夕やけ	始め、音符の早さで色分けをして、ゆっくりなところはオレンジ、ちょっと早めのところは赤にしました。そうしたら夕やけにみえてきて、この曲にも合っていると思いました。夕やけを見ているような気持ちで落ち着くような曲だと思います。	④ II
14	バイエル	78	野原と小川	曲の元気な感じと流れるように音が下りてくる様子が緑いっばいで、小動物などがいっばいいて、川も流れていて…のようなイメージです。おだやかで幸せなイメージです	① II
15	バイエル	78	春	動物たちが野原で楽しそうにダンスを踊っている	① I
16	バイエル	83	動物の追いかっこ	最初の所は右手と左手が順番に弾いているので、追いかっこというテーマにしました	②③ II
17	バイエル	83	お散歩ランラン	ある日お散歩に出かける。最初にカエルに出会う。次にうしさんに出会う。ヒヨコも見付ける。みんな出会う、歌いながらスキップする。今度はみんなでお散歩に出かける。お花を見付ける。虫さんも見付ける。友達いっばい楽しいなあ。夕日が沈んでおうちに帰る。ばいばいまたね。また遊ぼうね。	①⑥ ⑧⑨ II
18	バイエル	83	マラソン	始めは順調に走っている!! 途中、色が変わった所で疲れてたくさんぬかれてしまう。でもがんばって始めのペースで走る。もう走れないぐらい疲れてしまう。でも頑張って走ってゴールできた!!	④⑨ II
19	バイエル	96	ヨチヨ赤ちゃん	ハイハイが上手にできるようになった赤ちゃんが、今度は歩こうと一生懸命頑張っている様子。赤ちゃんは自分専用のイスを持っている。まず自分のイスにつかまり立ちを試みる。手をイスから離してみただけれどおっとととと…うまく立てず、もう一度つかまってみる。そしてついにイスから手を離して自分の力で立つことが出来るようになった。そこから、お父さん、お母さんの方へ向かって、1歩、2歩…ヨチヨチと歩いていく。お父さんもお母さんも心配そうに様子を見ている。ついにしりもちをついて座ってしまった! でもめげずにもう1度つかまり立ちからヨチヨチ歩きにチャレンジ。もう一人で歩けるようになったね!!バンザイ!!	①④ ⑥⑧ ⑨ II
20	バイエル	97	不思議のたんけん	始めのリズムがとても明るかったので、散歩をさせてみようと思った。2段目からリズムが変わらないので、子供の目線になり、「あれは何?」「これは何?」「なぜ?」というものを取り入れてみた。最後は知らないものがあるから毎日が楽しいんだというイメージ	①⑦ ⑧⑨ II

21	バイエル	104	晴れた日の出来事	ぼかぼか陽気の昼下がり。おだやかな海です。くまの子がのんびり釣りをしていました。魚は全然来ませんでした…(曲の始まり)一匹の小さな魚が来て、エサをパクリ…としそうだったのですが、釣り針に気づいて逃げて行きました。二匹目の魚がやって来ました。今度はエサをパクリ。頑張っって釣ろうとふんばりましたが…パッとエサを食いちぎられ、魚は逃げていきました。ガッカリしつつも「くそ〜、次こそは!」と気をとり直してもう一投。今度は何やら大きな影が水面に見えた…と思ったら、アタリです!ぐいぐい引っぱっていると、ジャパ〜んと大きな魚が目の前で飛びました!逃がすまい!と思ひ必死で引っぱりあげようと思ひますが、魚の力はとても強くて、逆に魚に引っぱられていきます!あと少し!!……というところで……あ!!!!!!チャンチャン♪(気づけば日は暮れていました。)	②⑨ II
22	バッハ	メヌエット ト長調	優しさ	優しい曲っぽいのでパステルでぬってみました。色で分けてパステルで優しさを表してみました。	④ II
23	ブルグミュラー	15 バラード	赤い糸	最初怖そうな感じだけど、途中イメージが変わるところが楽しそうなイメージで好きです。	①④ II
24	クレメン ティー	ソナチネ Op36-1	バレエ	初めの方は楽しんでおどっているけれど、だんだん限界になってきて少し休憩する。休んだのでまた踊り始める。まただんだん楽しくなってきた、どんどん楽しくなっておしまい。	④⑧⑨ II
25	クレメン ティ	ソナチネ Op36-3	無題	この曲はスタッカートが多くてリズムカルな曲なので、虹とかを書いた。トリルは早いのでたつまきを書いた。盛り上がるの所はお花を書いた。だんだんと小さな音にするところは暗い紫にしてみた。同じフレーズで1オクターブ下がる所は緑で少し暗くした。和音で盛り上がる所はひよこを成長させてみた。	① II
26	ベートー ヴェン	夢のワルツ	お花のワルツ	お花が揺れている感じ。お花畑で、風に揺られて	① I
27	ベートー ヴェン	夢のワルツ	野原の天気	1〜8小節目までは、野原の花や草が風で揺れているイメージです。9〜16小節目は空が暗くなって、雨が強く降ってきて雷が鳴りそうなイメージです。17〜24小節目は雨が弱くなって空が少しずつ明るくなっていくイメージです。33〜41小節目はまたもとの野原にもどり花や草が風に揺れているイメージです。	①④⑨ II

分類表

【創作手法】

① 絵を描く (カラー)	17名
② 絵を描く (単色・黒)	3名
③ 絵を描く (単色・カラー)	0名
④ 色を塗る	12名
⑤ シールを張る	1名
⑥ 擬音語	2名
⑦ セリフ	1名
⑧ 文章を書く	5名
⑨ ストーリーを創る	8名
⑩ 歌詞をつける	0名

【作風】

I 曲全体を大きく一つに捉えてイメージを描いた楽譜	7名
II 曲の流れに沿ってイメージを描いた楽譜	20名

IV比較・分析と考察

平成21年・22年度の実践結果をもとに、比較・分析した(表3～5)。それぞれの比較においては、【創作手法】と【作風】の2種類に分類した。

表3 (1) 学年からみる比較

【創作手法】

	H21年／20作品		H22年／27作品	
	人数(人)	比率 (四捨五入)	人数(人)	比率 (四捨五入)
絵を描く(カラー)	11	55%	17	63%
絵を描く(単色・黒)	5	25%	3	11%
絵を描く(単色・カラー)	0	0%	0	0%
色を塗る	8	40%	12	44%
シールを張る	0	0%	1	4%
擬音語	3	15%	2	7%
セリフ	3	15%	1	4%
文章を書く	5	25%	5	19%
ストーリーを創る	17	85%	8	30%
歌詞を創る	1	5%	0	0%

【作風】

	H21年／20作品		H21年／27作品	
	人数(人)	比率 (四捨五入)	人数(人)	比率 (四捨五入)
曲全体を大きく一つに捉えてイメージを描いた楽譜	2	10%	7	26%
曲の流れに沿ってイメージを描いた楽譜	18	90%	20	74%

表4 (2) 標題のある曲(ブルグミュラー)と標題のない楽曲(バイエル)からみる比較

【創作手法】

	H21年／ 20作品(ブルグミュラー)		H22年／ 18作品(バイエル)	
	人数(人)	比率 (四捨五入)	人数(人)	比率 (四捨五入)
絵を描く(カラー)	11	55%	11	61%
絵を描く(単色・黒)	5	25%	2	11%
絵を描く(単色・カラー)	0	0%	0	0%
色を塗る	8	40%	8	44%
シールを張る	0	0%	1	6%
擬音語	3	15%	2	11%
セリフ	3	15%	1	6%
文章を書く	5	25%	4	22%
ストーリーを創る	17	85%	5	28%
歌詞を創る	1	5%	0	0%

【作風】

	H21年／ 20作品(ブルグミュラー)		H22年／ 18作品(バイエル)	
	人数(人)	比率 (四捨五入)	人数(人)	比率 (四捨五入)
曲全体を大きく一つに捉えてイメージを描いた楽譜	2	10%	7	26%
曲の流れに沿ってイメージを描いた楽譜	18	90%	20	74%

表5 (3) H22 年度実践をピアノ曲のレベル別に分類した比較

【創作手法】

	初心者～バイエル 50 番 ／ 8 作品		バイエル 51～106 番 ／ 12 作品		バイエル終了者 ／ 6 作品	
	人数 (人)	比率 (四捨五入)	人数 (人)	比率 (四捨五入)	人数 (人)	比率 (四捨五入)
絵を描く (カラー)	5	63%	8	67%	4	67%
絵を描く (単色・黒)	1	13%	2	17%	0	0%
絵を描く (単色・カラー)	0	0%	0	0%	0	0%
色を塗る	2	25%	4	33%	4	67%
シールを張る	0	0%	1	8%	0	0%
擬音語	0	0%	2	17%	0	0%
セリフ	0	0%	1	8%	0	0%
文章を書く	0	0%	4	33%	1	17%
ストーリーを創る	1	13%	5	42%	2	33%
歌詞を創る	0	0%	0	0%	0	0%

【作風】

	初心者～バイエル 50 番 ／ 8 作品		バイエル 51～106 番 ／ 12 作品		バイエル終了者 ／ 6 作品	
	人数 (人)	比率 (四捨五入)	人数 (人)	比率 (四捨五入)	人数 (人)	比率 (四捨五入)
曲全体を大きく一つに捉えてイメージを描いた楽譜	4	50%	2	17%	1	17%
曲の流れに沿ってイメージを描いた楽譜	4	50%	10	83%	5	83%

以上3つの比較・分析を総括的に見て、教員・保育者養成課程に在籍する学生にとって表現しやすい創作手法は、学年の違いや音楽経験の有無、選択した楽曲のレベルなどには関係ないことが見えた。学生が最も好む手法は、カラー筆記用具を使って絵を描くことや、楽譜に色を付けることであった。そこで、絵や色で表現することを得意とする学生が多いことには驚いた。また、その他の手法も数多く見られ、創作手法は学生一人ひとりによって違ったものが見られた。作風やテーマについての考察は箇々に記す。

1 作風について

学年の違いや選択した楽曲のレベルの違いに見られる比較から、楽曲の流れに沿って細かくイメージを描いている作品の割合は2年次の学生に多く見られた。そして、文章や台詞、擬音語などの手法も用いてストーリー性を持った作品を創作した学生が多かった。これらの要因として考えられることは、入学時における学生の音楽経験の有無が関係しているのかもしれない。音楽経験が長いほど、調性の違いや伴奏型による楽曲の雰囲気の違いなど、細部まで楽譜を読み取る力が備わっている。また、イメージーションの範囲が広がり、楽

譜制作の一助となる。更に、標題が付けられている楽曲の方が、構造上細かいイメージが確立しやすいことも考えられる。

楽曲の雰囲気を大まかに捉えている作品を選択した割合は、1年次学生に多く見られた。これは、初級に値する楽曲の方が、発想記号や調性の変化などが比較的少なく、楽曲自体がシンプルな構造で出来ているため、イメージーションの範囲が狭まってしまふのかもしれない。そして、初心者で入学した1年次学生にとって、まだまだピアノ曲に慣れていない点も考えられるであろう。

2 テーマについて

標題が付いた楽曲は、標題から連想したテーマが多く見られた。学生は既存の標題をもとに、オリジナルの想像を膨らませている。ここで、眼先の標題名に誘い込まれてしまいイメージしてしまう傾向が見られた。このような意味において、標題が付いていない楽曲と比較すると、想像の幅が多少なりとも狭まってしまふのかもしれない。しかし、音楽を想像するという経験に乏しい学生や、演奏経験が少ない学生にとって、標題からヒントを得て想像することが出来ることは、創作活動の一助となる。また、標題をもとにして想像する過

程においては、その楽曲の時代背景や音楽様式についても学ぶこととなり、楽譜の奥に秘められた作曲者の意図を読み取るという学習にもつながっていくのではないかと考える。その一方で、バイエル教則本にある楽曲のような標題を持ち得ない楽曲での創作は、純粋に楽譜に書かれた音楽(音)そのものから何かを感じてイメージすることができているように見受けられた。そのため、学生一人ひとりの個性や創造力を感じさせる創作が見られた。

V 今後の課題

創作楽譜の実践結果の比較により、音楽経験の有無や選択した楽曲の難易度には関係なく、学生一人ひとりにとって創作楽譜の制作は有意義であったと感じられる。学生自ら描いた楽曲のイメージをピアノの演奏で表現するということができた。これは、学生がピアノにおける演奏表現の楽しさを感じる事が出来たからであろう。しかしながら、実践をとおして学習する要素は、学生一人ひとりに大きな差異が見られた。例えば、初心者にとっては、音楽を表現する楽しさを体験

することにより、ピアノ演奏に対する不安を和らげ、今後の学習意欲の向上を手助けすることとなる。上級者の創作活動においては、楽曲の内容について深く考え、音楽的な内容も理解することができるため良い学びの場となる。また、普段は見落としやすい発想記号などにも配慮する気持ちを抱き、ピアノでの演奏表現のレベルが高揚した。

創作楽譜の制作実践は、音楽的なレベルの違いや選択曲の種別などにより、学べる要素が多いものである。筆者の研究として今後もこれらの実践を続け、楽曲構造の学習や学生自身が楽曲分析することに繋がるような創作楽譜も制作したいと考えている。最後に、筆者と共に創作楽譜の制作実践を行った学生に感謝したい。

参考文献

- 『幼稚園教諭・保育士をめざす人のためのテキスト ピアノへのアプローチ 4 Steps』音楽之友社
- 『ブルグミュラー 25 の練習曲』全音楽譜出版社
- 『ソナチネ集 1』全音楽譜出版社

研究A 創作楽譜 3 戦い

研究A 創作楽譜 14 ささらさら流れる川

研究B 創作楽譜 11 海☆ファ☆ソ☆ラ

★ *mf* (mezzo forte = メzzo・フォルテ) やや強く。

Allegretto

56.

★ (左手が速くならないように気をつけて、8分音符の長さを正確にひきましょう。)

Allegretto

研究B 創作楽譜 14 野原と小川

Allegretto

78.

★ (左手の二音は付点4分音符の長さを正しくひいて下さい。)

★★ (前の小節の嬰ハ音の♯は、ここではききめがなく、ハ音をひきます。)

